

会議・打合せ等記録

市 長	副 市 長	教 育 長	教育次長	図書館長	管理係長	奉仕係長	担 当
							

報告日：令和 6 年 11 月 26 日

A-209

名 称	鹿沼市立図書館協議会 (令和 6 年度 第 2 回)
日 時	令和 6 年 11 月 19 日 (火) 13 時 30 分～14 時 32 分
場 所	図書館本館 2 階視聴覚室
出 席 者	委員：須田、大音、山本、光野、大塚、高田、川村、福田、野中、小杉 事務局：中村教育長、郷教育次長、大貫館長、大出東分館長、戸田係長、福田係長、栗野館早川主査、高野主査（書記） 欠席者：長島、渡邊 (敬称略)
内 容 及 び 結 果 等	1. 開会（大貫館長） 2. あいさつ 中村教育長）日頃から委員の皆様に学校教育や社会教育、家庭教育など様々な分野でご尽力いただいていることに改めましてお礼申し上げる。今年度は、図書館で就労支援施設の物品販売や、年明けに予定している高校生ビブリオバトルの開催などの新たな事業をいろいろと始めている。図書館の指定管理者制度について方向性が定まったので会議の中で報告をさせていただきたい。図書館が市民の読書活動・学習活動を支援する身近な情報拠点として、より充実していけるよう、委員の皆さまには様々な視点から忌憚のないご意見をお聞かせいただければありがたいと思う。 須田委員長）学校では活字離れがどんどん進んでいる。学校ではタブレットで授業を受けていて、子どもたちも目が悪くなったりするかもしれないが、本を読むということは大切で、小さいうちからが一番、中学生になってから本を読めと言っても読まない。お母さんと一緒に読み聞かせの本や絵本・図鑑などに小さいうちから触れることで読書習慣をつけて、高校生になっても本を読める子になってくれたらいいと思う。 夏休みに図書館で実施した点字体験講座に親子で参加した方がいらした。お母さんは点字を知らなかったそうだが、講座を受講して点字に興味が出たということで、そのあと点字の講習会を一人で受けて続けてくださるそうです。図書館で講座をやってくれたからこそ親子で点字について学べたと聞いて、私たちも心が温かくなった。小さいうちから繋がっていければいいなと思っている。 3. 議事（鹿沼市図書館条例施行規則第 36 条第 2 項により、委員長が議長となる。） (1) 第 1 号議案 令和 6 年度 事業・今後の事業計画について ・資料に沿い、本館分を福田係長、栗野館分を早川主査、東分館分を大出分館長が説明。 須田委員長）上都賀地区のビブリオバトルはどういう形式でやるのか？ →福田係長）学校で選ばれた代表者 5～10 人が 1 人 1 冊本を紹介して、聴衆に決を採ってチャンプ本を決める。県立東高校の司書さんたちが事務局になって上都賀地区の高校に働きかけて図書館を会場に初めて実施することになった。 須田委員長）内容を人に話すために要約・解釈して考えながらやると思う。とても素晴らしい。実際に聴いたことがないのでぜひ参加させていただきます。 →承認された。

市 長	副 市 長	教 育 長	教育次長	図書館長	管理係長	奉仕係長	担 当

(2) 第 2 号議案 図書館協議会開催予定について

・資料に沿い、戸田係長が説明。

戸田) 2 月上旬から中旬の間で日程を調整して決定し周知する。

→承認された。

4. 報告事項

(1) 図書館の運営について

戸田係長) 本館と栗野館について、今後の方針は、直営で運営していくこととなった。

主な理由は、他部局、特に学校などの教育行政との連携をこれまで以上に密に図る段階を迎えていること、また、2 館について、事業者の見積もりと市の予算とを比較した結果、指定管理者導入の経費削減効果が従前よりも見込めなくなっていること。

今後図書館の運営にあたり、新市長のビジョンとして市全体で読書活動を推進していく構想を持っています。読書推進を図るうえで電子書籍などについても整備を進めていくこと、また、学校との関わりを強化していくことで、本市の特色ある図書館行政を推進していくというビジョンです。

また、本市の子どもの読書活動推進計画が近々更新時期で、新しい計画は県の計画に合わせ子どもに限定せずに市民全体を対象とする。計画策定にあたっては委員の皆様にもご協力をお願いしたい。

大貫館長) 直営か指定管理者かについて、東分館の実績があり、指定管理者もありではないかという意見もあったが、市がやらなくてはいけないこと・強化していかなくてはいけないことがあるのでまずそこをちゃんとやること、という話があり、直営で本館と栗野館はそのまま運営することになった。まずは基本をしっかりさせる。皆様のご意見・ご協力をいただきながら図書館運営をしていく。

福田委員) 直営を主張してきたが、その通りの結末になり大変喜ばしい。今後の在り方について計画を策定していくということなので、委員の一人としていろいろな意見をさせていただければ。

＜司書記者の旅をする本棚＞という記事が東京新聞に月 1 回掲載されている。最近掲載された「本屋との共存」の記事は、本屋の本が売れない危機的状況脱却のため、昔はライバル関係といわれていた本屋と図書館が連携して読者を取り戻そうというものの。こんな試みなどもやっていただければ。

直営で行くということになれば、専門職である司書の育成を柱にして欲しい。

大貫館長) 書店と図書館の関係は、国の方からの話や、最近、新聞・ラジオ・テレビで取り上げられている。鹿沼市は残念ながら個人商店の書店が少ない。皆さんの知恵を借りながらいい方法が見つかればと考えている。

大音副委員長) 所属している栃木子どもの本連絡会で、子どもの本に関わる勉強会や学校図書館に関しての勉強会などを行っている。宇都宮市は全校に司書が配置されていて、図書室整備だけでなく先生の資料集めや一緒に授業に参加するなど、授業に関わ

会議・打合せ等記録

市 長	副 市 長	教 育 長	教育次長	図 書 館 長	管理係長	奉仕係長	担 当

	っている。とてもいいことだと思う。 また、子どもと本を繋ぐ役割も担っている。このスキルはすごく大切で、子どもは本があっても自分で選ぶのが難しい。最初に選んだ本が面白くないと本を読まなくなってしまうので、一番身近な学校図書室にその子に合った本を手渡せる専任の司書がいることがとても重要だ。 鹿沼は今、1人の学校図書館支援員が3～4校を担当しているため、1校にかけられる時間が短い。そのため、図書室整備だけで終わってしまい子どもとの関わりが弱いと思う。司書教諭も担任を持っているとそこまで手が回らない。ぜひ1校に1人、専門の司書を配置してほしい。 大貫館長) 学校図書館支援員 10 名が 3～4 校ずつ担当しているが、手が届かないところを K L V 協会さんにご協力いただいている。ボランティアさんで、常駐ではないので手が届いていないところがあるのかもしれない。 小杉委員) 支援員がいるとありがたいが 4 校ほどの掛け持ちでなく、充実して欲しい。子どもや高齢者でも行ける、図書館への移動手段も必要。 野中委員) 私はリクエストで指定したコミセンなどに取りに行く方法を取っている。 5. その他 大貫館長) 10 月末に全館休館して図書館業務システムを更新した。11 月から新システムが稼働している。ホームページのリニューアルは 11 月末頃実施予定。 福田係長) 新ホームページではカレンダーからイベント記事に飛べるようになる。蔵書検索や、借りた本とお気に入りの本が記録できるマイ本棚機能もご活用ください。 大貫館長) 12 月に栗野館でスマホ教室を実施予定。今後、マイ本棚活用講座も検討している。 光野委員) 絵本の図書記号が絵を描いた人になっているそうだが、著者の名前で探そうとしても目当ての本が見つからない。絵本を探す良い方法があれば教えてほしい。 大音副委員長) 栗野館は、絵本の図書記号は著者で取っている。 →福田係長) 合併前の経緯もあり館毎に図書記号の取り方が異なっている。著者でも検索は出来るが、宮沢賢治作品のように作画が多数ある場合、絵の方で覚えている人が多いことがある。 高田委員) 東京ではブックスタートの他にセカンドブックもやっている。鹿沼でも実施を検討してほしい。 →福田係長) 少子化と本の値上げの影響もあり、4 か月 (ブックスタート) と 12 か月 (セカンドブック) ではなく、間の 10 か月でブックスタートとしている。 6. 閉会
配 布 資 料	令和 6 年度 第 2 回 鹿沼市立図書館協議会 (資料)
次 回 予 定	令和 7 年 2 月

会議・打合せ等記録

市 長	副 市 長	教 育 長	教育次長	図 書 館 長	管理係長	奉仕係長	担 当

記 録 者	図書館 管理係 主査 高野 紀子		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条に基づく 審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公 開	(公開の場合) 傍聴人数	0 人